真実不虚の行

曹洞宗管長
大本山永平寺貫首
南澤道人

令和三年の初春を迎え、謹んでお祝詞を申し上げます。拙衲は、福山諦法禅師の御退董により大本山永平寺八十世の住持をお勤めさせて頂くことになりました。従って、曹洞宗管長職を前任者の残任期間引き嗣ぐこととなりました。何卒よろしくお願い申し上げます。

梅花流の詠讃歌は、昭和二十七年高祖大師七百回大遠忌の頃に当時大先達の師範・教師の御老師方の並々ならぬ御尽力によって始まり、既に七十年近い歴史を刻んで来ました。その後の師範・講員の皆様の大きな絆に支えられ素晴らしい発展を続け、宗門教化の一翼を担っております。今日では、海外にも講が出来ているのは有り難い事です。

梅花の詠道は「三業に佛印を表し三昧に端坐する」坐禅と変わりなく、身・口・意の三業による三昧修行であります。

般若心経には「観自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄」とあって日常讀誦しておりますが、梅花奉詠もこの深般若波羅蜜多の行と同じに行ずる道であって「真実不虚」の行であることを信じます。

昨年来、新型感染症の流行で梅花大会も中止のこととなり残念に思いますが、お互いに独自で行ずることも出来る道であります から、意を強くして励んで頂きたいものです。

皆様の御健康を祈り、梅花流の発展を願い御挨拶に代えます。

合掌

梅花新聞【香里】第45号
題字　管長　南澤道人　禅師
発行者　鬼生田　俊英
発行所　曹洞宗宗務庁
企画編集　伝道部詠道課

梅は寒苦を経て清香を発す

昨年十月に、伝道部長に就任した岩井秀弘でございます。二年間の任期中は、梅花流の温かく清らかな調べを多くの方に届けるために尽力してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、来る令和四年には、梅花流創立七十周年を迎えます。記念奉讃大会を開催し、宗門をあげて盛大にお祝いする計画を立てておりますが、新型コロナウイルス感染症の終息は未だ見えておりません。二年続けて全国大会を中止しなければならなかったことも考慮し、従来とは異なる形で祝意を表していただく方法も検討する必要があると考えております。

ともあれ、一刻も早く状況が改善し、停滞している梅花流の活動が再び楽しく展開できることを祈るばかりです。その意味でも、記念すべき七十周年を明るい未来を創造する契機にしたいと希望しております。一人でも多くの講員さんにご参加いただけるように工夫し、皆で新しい十年の幕開けを行ないたいと存じます。

現状、毎日のように会っていた方々もマスクでの生活が長く続き、元々どんな顔だったか思い描けないほど着用する日常となってしまっております。馴れてはしまいましたが、これが当たり前ではないのです。七十周年の際には、マスク越しではない皆さんの輝く明るい笑顔に出会えることを期待して、これからしっかりと準備を進めてまいります。

岩井 秀弘（いわいしゅうこう）
平成26年より曹洞宗宗議会議員
各種審議会委員などを歴任し、
第二次鬼生田内局で伝道部長に就任
宮城県仙台市　宗禪寺住職

お誓い

私達は梅花流詠讃歌を通して、正しい信仰に生きます。
私達は梅花流詠讃歌を通して、仲よい生活をいたします。
私達は梅花流詠讃歌を通して、明るい世の中をつくります。

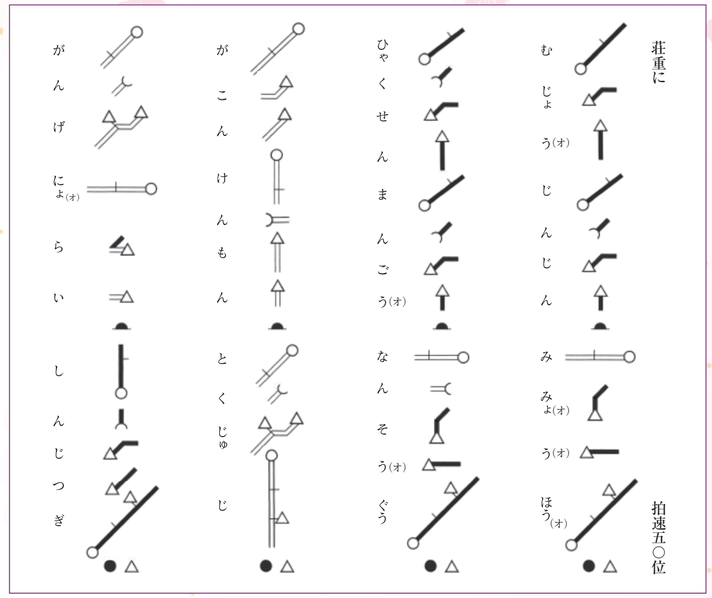
ワンポイントレッスン『開経偈』

曹洞宗宗務庁より『曹洞宗仏教讃歌集』が平成元年に発行されております。これらの仏教讃歌には、み仏を讃嘆し礼拝する歌や、年間及び日常の仏教的行事に関するもの、自然をうたったものなどが、洋楽譜で131曲収録されております。その中に、田中利光氏が作曲された『開経偈』があります。

梅花流詠讃歌において、勤行式で最初に唱す『開経偈』は読み下し文になっておりますが、こちらは漢文読みに曲譜がつけられております。それを梅花譜に書きおこしたものが下の譜です。洋楽譜より少し遅い拍速50位でゆったりと唱えましょう。曲譜全体は、中音のミ音から高音のソ音までの音域でお唱えできます。合わせ易いように鈴鉦も付しておきました。

讃歌集には、他に仏様・祖師様の歌や三帰依文、普回向、四弘誓願など、重厚で言葉の意味がより深く理解できる旋律の作品が多く揃っています。梅花流詠讃歌と伴に講員の皆様の奉詠曲として、広がり伝えられることを願って取り上げました。

無上甚深微妙法
百千万劫難遭遇
我今見聞得受持
願解如来真実義



無上甚深微妙の法は
百千万劫にも遭い遇うこと難し
我れ今見聞し受持することを得たり
願わくは如来真実の義を解せん

梅花流専門委員
山形県庄内町
乗慶寺住職
阿部 伸世

梅花妙楽

■マスクは白。ポストに届いた布製も白だった。それが、今や素材も色柄も機能性も多様化し、ファッションの一部にまで進化した。我が家の専用箱も、衝動買いや戴きもので溢れ、どれにしようか迷うことがしばしば。両山紋柄もあるが、ちょっと派手なので出番は少ない。

■街に出ると、和柄のマスクも多く見かける。人気アニメの影響もあり、シンプルだが、デザイン性の高い日本の伝統文様があしらわれていておしゃれだ。小さな子供が着けていると実に可愛らしく微笑ましい。マスクだけでなく、洋服にももっと取り入れたら良いのにと思う。

■それに対し、梅花服は時が止まっている…。昭和45年に考案されてから、殆ど何も変わらない。もっと違うおしゃれなものを!!という声は幾度もあった。しかし、結局変わらないのは、今以上のものが出てこなかったからだろう。

■実は、梅花服については明確な決まりがない。だから、今以上の革新的なデザインを思いついたらぜひとも提案してほしい。紫一色でなくてもいい。マスクが白ばかりでなくなったように、既成概念を変えると唱え奉る気分も変わるかも。

（詠道課）

◆クイズの答えは
彼岸御和讃

●法具寄贈のお願い●

詠道課では、中古の梅花法具を収集し自然災害などで被災された講員や僧堂にお送りして活用しています。眠っている法具がありましたら、下記までご送付ください。

〒105-8544
東京都港区芝 2-5-2
伝道部詠道課「中古法具」係
03-3454-5416
※送料はご負担願います。

梅花流詠讃歌ＣＤ
「供養編
～御霊よ永久に安らわん～」
供養の場に相応しい御詠歌を収録したＣＤです
価格 1,000円＋税
①追弔御和讃
②新亡精霊供養御和讃
③無常御和讃
④追善供養御和讃
⑤報恩供養御和讃
⑥盂蘭盆会御和讃
⑦彼岸御和讃
⑧坐禅御詠歌（浄心）
お求めはフリーダイヤル 0120-498-971
FAX 03-3768-3561 曹洞宗ブックセンターまで
※送料・代引手数料別途

▼梅花流全国奉詠大会▼▼▼